

畑山 親弘

(市政・市民クラブ)

市勢発展の方向性について

質問 当市の人口が合併後三千二百人ほど減少した原因はどこにあるか。

また、市勢発展をもたらすためには、地域資源である農産物、十和田湖や奥入瀬等の観光をどう生かすかであると考えるが、その方策について伺いたい。

答弁 人口減は、出生数の減少、死亡数の増加の自然動態、また、転入者より転出者が多いという社会動態が要因として考えられる。地域資源の活用は、農産物においては本年六月に設置した十和田産品販売促進会議で野菜のブランド化、米粉の普及促進、加工品の開発・利活用を重点に取り組んでいくこととしている。

また、自然資源をもとに新たな観光メニューの企画や観光PR、情報発信の強化など魅力づくりの取り組みを進めている。

浄化槽整備事業について

質問 PFI法による浄

化槽整備事業を進めたが、実績が芳しくなく普及しない原因は何か。

※PFIについては(注1)を参照。

答弁 集合処理への二一ズが高いこと、分担金が農業集落排水事業に比べて高いこと、排水先が確保できず浸透ますの管理が自己責任であること、下水道使用料が発生することなどが考えられるが、引き続き普及促進のため、PRを強化していきたい。

認可外保育園にも助成を

質問 現在当市には十一カ所ほどの認可外保育園があり、約三百人の子供が入所している。市長の報酬カット分で健診や保育材料費の一部補助があるもののほとんどないに近い。前回国が保育ママ制度(注4)を始めたことから当該保育園への公費助成をお願いしたが、その後の市の取り組み、考えを伺いたい。

答弁 子育て支援は国の施策として行うべきものとの考えから、市長会等を通じて認可外保育園に対する財政支援を国、県に要望していきたい。

今泉 勝博

(市政・市民クラブ)

県営指久保地区かんがい排水事業について

質問 当初事業費八十一億七千二百万円から計画変更後は百三十八億一千三百万円となり、最終的に二百三十五億七千二百万円となっているが、今後の農家負担は幾らになるのか。

答弁 平成六年度実施分からダム本体工事に係る受益者の負担率が三%から〇・五%へ引き下げられ、さらに工事費が百三十八億一千三百万円を超える部分については、受益者の〇・五%分を市町村が負担するという軽減策がとられている。事業費は大幅に増加しているが、農家の負担増にはつながらない。

質問 今後、ダムの維持管理費として地元負担が出てくるのではないかと聞かれているが、その見通しについて伺いたい。

答弁 ダム完成後は、関係土地改良区に財産譲与され、その管理は県が委託を受けて行うため、県への重

点事業要望で受益者や関係土地改良区の負担軽減について強く要望した。県からは、ダムの維持管理に係る体制等について詳細に検討し、関係土地改良区や当市との話し合いを進めていくとの回答をいただいている。

高森山総合運動公園整備事業について

質問 現在馬事公苑とのアクセス道路は路盤だけの状態であり、当該整備事業は平成二十一年度で終了しているが、今後の整備について伺いたい。

答弁 昨年度までに盛り土及び下層路盤工の工事が終わっており、本年七月上旬から排水溝を施工している。引き続き路盤及びアスファルト舗装等を行い、年内の事業完了に向けて工事を進めていく。



工事中の指久保ダム

堰野端 展雄

(高志会)

各種大会への補助について

質問 小・中学校の各種大会参加への補助を制度化するべきではないか。

答弁 庁内において関係課を構成員として、各種大会参加への支援のための検討委員会を立ち上げ、現在助成の対象区分、対象範囲や基金制度により対応できないか等を総合的な視点から検討している。

質問 八甲田登山道の整備をするべきではないか。

答弁 環境省の管理計画書では、植生保護のための木道整備とルート変更のみが認められており、最小限の整備方針となっている。また、登山道の管理者が確定していないことから、南八甲田登山道連絡協議会を通じて、登山道利用者の声も聞きながら、自然保護と登山道の管理運営のあり方について国、県と協議していきたい。

森林買収に対する取り組みについて

質問 外国資本による森林買収に対する取り組み状況は。

答弁 市内の森林組合等農林業関係者から聞き取りした結果、そのような事例はなく、また、県からは県内においてもそのような事例はないと聞いているが、引き続き情報収集に努めていきたい。



八甲田登山道